



## 2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6090 URL <https://humanmetabolome.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 克仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート統括本部長 (氏名) 大畑 恭宏 TEL 03-3551-2180  
 定時株主総会開催予定日 2020年9月26日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年6月期の連結業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	1,118	—	△17	—	△16	—	△47	—
2019年6月期	989	—	△526	—	△515	—	△596	—

（注）包括利益 2020年6月期 △49百万円（-%） 2019年6月期 △597百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	△8.15	—	△4.3	△1.1	△1.5
2019年6月期	△101.92	—	△41.9	△31.3	△53.2

（参考）持分法投資損益 2020年6月期 -百万円 2019年6月期 -百万円

（注）1. 2019年6月期は決算期変更により15ヶ月決算となっておりますので、対前期増減率については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	1,538	1,215	72.6	189.48
2019年6月期	1,367	1,214	82.7	193.11

（参考）自己資本 2020年6月期 1,117百万円 2019年6月期 1,130百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	184	△34	22	1,219
2019年6月期	△265	△54	3	1,048

### 2. 配当の状況

	年間配当金						配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2019年6月期	—	0.00	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年6月期	—	0.00	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	7.3	20	—	35	—	10	—	1.69

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年6月期	5,895,800株	2019年6月期	5,853,800株
2020年6月期	112株	2019年6月期	34株
2020年6月期	5,861,730株	2019年6月期	5,848,167株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2020年8月20日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後遅滞なく、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14
生産、受注及び販売の状況 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

前連結会計年度は、決算期の変更により2018年4月1日から2019年6月30日までの15か月間となっております。これにより当連結会計年度（2019年7月1日から2020年6月30日）は比較対象となる前連結会計年度と対象期間が異なるため、前連結会計年度との比較は参考として記載しております。

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済環境は、前半期は米国で景気が堅調に推移し世界景気全般をけん引する一方、国内では消費増税の影響などを受けて景気の下押し圧力が強まりました。後半期に入ってから全世界的に新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な景気低迷となりました。

当社グループが属するライフサイエンス業界においては、医療・介護の効率化に向け、予防医療や個別化医療を推進する動きが増え、新型コロナウイルス感染症対策への関心も高く、研究開発への取り組みや健康管理等へのニーズが世界的に高まっています。

このような状況の中、当社グループではメタボロミクス事業において、国内外の学会への出展やキャンペーンといった販促活動を中心に受注拡大に向けた取り組みを継続するとともに、営業効率および生産効率の向上に向けた組織強化等に注力してまいりました。

また、バイオマーカー事業においては大うつ病性障害（以下「うつ病」といいます。）バイオマーカーの事業化に向けた研究開発を継続するとともに、新たなパイプラインや関連ビジネスの検討に取り組みました。

これらにより化学・食品分野を中心に全分野での販売が好調に推移した結果、当連結会計年度の売上高は、1,118,495千円と創業以来最高水準の売上高となりました。営業損失は17,039千円、経常損失は16,502千円、親会社株主に帰属する当期純損失は47,794千円となりました。

	<参考> 2019年6月期 (15ヶ月)	2020年6月期 (12ヶ月)
売上高	989,391千円	1,118,495千円
営業損失(△)	△526,175千円	△17,039千円
経常損失(△)	△515,312千円	△16,502千円
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△596,026千円	△47,794千円

セグメント別には、次のとおりであります。

#### <メタボロミクス事業>

	<参考> 2019年6月期 (15ヶ月)	2020年6月期 (12ヶ月)
売上高	988,986千円	1,114,180千円
(内国内売上高)	816,348千円	933,727千円
(内海外売上高)	172,637千円	180,453千円
セグメント利益	232,903千円	457,128千円

当事業セグメントにおいては、営業戦略を見直し営業体制の強化に取り組むなど、積極的な販促活動を展開し、大口案件の受注拡大に取り組んだことにより全分野において売上が増加しました。海外においても米国・欧州を中心に価格戦略見直しなどに取り組んだ他、アジア圏の市場拡大に向けた活動も活発に行いました。この結果、売上高は1,114,180千円、セグメント利益は457,128千円となりました。

## ＜バイオマーカー事業＞

	＜参考＞ 2019年6月期 (15ヶ月)	2020年6月期 (12ヶ月)
売上高	405千円	4,314千円
(内国内売上高)	285千円	4,208千円
(内海外売上高)	120千円	106千円
セグメント損失(△)	△204,294千円	△160,824千円

当事業セグメントにおいては、うつ病バイオマーカーの実用化・事業化に向け、測定メソッドの開発並びに臨床研究に向けた活動（臨床性能評価等）を継続しました。また、新たなパイプラインやバイオマーカー関連のビジネスの事業開発や研究開発に取り組みました。この結果、売上高は4,314千円、セグメント損失は160,824千円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,411,304千円となり、前連結会計年度末に比べ196,961千円増加しました。これは、現金及び預金が170,598千円、棚卸資産が15,807千円増加したこと等によるものであります。

## (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は126,841千円となり、前連結会計年度末に比べ26,257千円減少しました。これは、工具、器具及び備品が25,322千円増加しましたが、減価償却累計額も46,514千円増加したこと等によるものであります。

## (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は300,112千円となり、前連結会計年度末に比べ184,064千円増加しました。これは、未払法人税等が33,651千円、未払金が18,265千円、その他に含まれる未払消費税等、前受金等が増加したこと等によるものであります。

## (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は22,768千円となり、前連結会計年度末に比べ14,181千円減少しました。これは、リース債務が9,787千円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,215,265千円となり、前連結会計年度末に比べ821千円増加しました。これは、資本金が17,908千円、資本剰余金が17,908千円、新株予約権が14,109千円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失47,794千円を計上したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ170,598千円増加し、1,219,023千円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは184,075千円の収入となりました。これは主に税金等調整前当期純損失24,543千円の計上、減価償却費47,965千円の計上、メタボロミクス事業にかかる前受金49,462千円の増加、未払又は未収消費税等48,212千円の増加等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは34,937千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出34,842千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは22,098千円の収入となりました。これは株式の発行による収入31,812千円等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

世界的な新型コロナウイルス感染症の収束にはまだ時間がかかる見通しであり、世界経済全体は総じて景気低迷が続くことが予想されます。当社が属するライフサイエンス業界は、このような環境下にあっても成長が見込まれる数少ない分野の一つとして研究開発投資が高水準で継続しており、今後も同様に推移することが想定されます。

このような状況のもと、当社グループではメタボロミクス事業において更なる事業拡大を図るため、新たな解析メニューの充実、営業体制の強化、解析の稼働率向上等に取り組んでまいります。また欧米・アジアパシフィック地域等でのメタボロミクス事業の販売拡大に取り組み、グローバルな認知度向上を図ってまいります。

バイオマーカー事業においては、予防・未病に寄与することを目指し、PEA(うつ病バイオマーカー)を中心としたメンタルヘルス関連ビジネスの実用化・事業化を引き続き推進する他、バイオマーカー探索の研究支援に引き続き取り組んでまいります。

次期の売上高については、主力であるメタボロミクス事業において、新メニュー拡充による受託解析の拡大を見込んでおり、適切なコストコントロールによる黒字化達成に努めてまいります。

なお、為替レートは、1米ドル110円を見込んでおります。

	2020年6月期（実績）	2021年6月期（見通し）
売上高	1,118百万円	1,200百万円
営業利益又は営業損失（△）	△17百万円	20百万円
経常利益又は経常損失（△）	△16百万円	35百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失（△）	△47百万円	10百万円
米ドル平均レート	108.14円	110.0円

（注）当社グループの主力事業であるメタボロミクス事業は、医療機関・研究機関を中心とした多くの顧客の年度末に納期が集中することから、売上高が当社第3四半期（1月～3月）に偏重する事業特性を有しております。従って、業績管理は年次で行っており、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績予想については投資家へ提供する情報としての適切性・有用性に問題が生じるおそれがあるため、業績予想は通期のみ記載しております。

[新型コロナウイルス感染症の影響について]

新型コロナウイルス感染症による影響は、当連結会計年度においてはほとんどありませんでした。

今後の状況につきましては、学術講演会の中止・延期による営業活動の停滞、測定試料の入手遅れによる売上計上遅延などマイナスの影響も考えられますが、一方で対策となる研究開発の拡大・加速、経費支出の抑制といったポジティブな要素もあり、全体としては影響は軽微と考えております。

新型コロナウイルス感染症の更なる拡大を考慮し、業績への影響については引き続き注視してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、将来のIFRS適用に備え、社内外の動向や当社グループへの影響等について調査を行い、その適用時期等についての検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	948,424	1,119,023
売掛金	69,877	66,035
有価証券	100,000	100,000
商品	29,750	26,106
仕掛品	12,095	31,852
原材料及び貯蔵品	12,985	12,679
その他	41,208	56,686
貸倒引当金	—	△1,080
流動資産合計	1,214,342	1,411,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,540	20,407
工具、器具及び備品	332,367	357,689
車両運搬具	—	317
リース資産	178,670	178,670
減価償却累計額	△402,093	△448,607
有形固定資産合計	131,485	108,476
無形固定資産	9,988	6,669
投資その他の資産		
その他	11,625	11,695
投資その他の資産合計	11,625	11,695
固定資産合計	153,099	126,841
資産合計	1,367,441	1,538,146
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54	8,311
リース債務	9,637	9,787
未払金	62,156	80,422
未払法人税等	4,576	38,227
資産除去債務	—	4,042
その他	39,623	159,320
流動負債合計	116,048	300,112
固定負債		
リース債務	19,728	9,940
繰延税金負債	1,416	436
資産除去債務	15,805	12,390
固定負債合計	36,949	22,768
負債合計	152,997	322,880
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,462,191	1,480,100
資本剰余金	1,450,908	1,468,816
利益剰余金	△1,801,142	△1,848,937
自己株式	△67	△143
株主資本合計	1,111,889	1,099,835
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18,537	17,303
その他の包括利益累計額合計	18,537	17,303
新株予約権	84,017	98,126
純資産合計	1,214,444	1,215,265
負債純資産合計	1,367,441	1,538,146

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	989,391	1,118,495
売上原価	316,705	261,773
売上総利益	672,686	856,721
販売費及び一般管理費	1,198,862	873,761
営業損失（△）	△526,175	△17,039
営業外収益		
受取利息及び配当金	243	81
補助金収入	6,312	2,070
為替差益	6,375	784
その他	320	172
営業外収益合計	13,251	3,108
営業外費用		
支払利息	740	420
株式交付費	98	—
和解金	1,400	—
解約違約金	—	2,065
その他	150	84
営業外費用合計	2,388	2,570
経常損失（△）	△515,312	△16,502
特別利益		
新株予約権戻入益	1,335	6,008
特別利益合計	1,335	6,008
特別損失		
減損損失	77,451	14,050
特別損失合計	77,451	14,050
税金等調整前当期純損失（△）	△591,429	△24,543
法人税、住民税及び事業税	4,136	24,230
法人税等調整額	461	△979
法人税等合計	4,597	23,251
当期純損失（△）	△596,026	△47,794
親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△596,026	△47,794



(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純損失(△)	△596,026	△47,794
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,659	△1,233
その他の包括利益合計	△1,659	△1,233
包括利益	△597,685	△49,028
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△597,685	△49,028
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,454,687	1,443,404	△1,205,115	△67	1,692,909	20,196	20,196	39,611	1,752,717
当期変動額									
新株の発行	7,503	7,503			15,007				15,007
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△596,026		△596,026				△596,026
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,659	△1,659	44,405	42,746
当期変動額合計	7,503	7,503	△596,026	-	△581,019	△1,659	△1,659	44,405	△538,273
当期末残高	1,462,191	1,450,908	△1,801,142	△67	1,111,889	18,537	18,537	84,017	1,214,444

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,462,191	1,450,908	△1,801,142	△67	1,111,889	18,537	18,537	84,017	1,214,444
当期変動額									
新株の発行	17,908	17,908			35,817				35,817
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△47,794		△47,794				△47,794
自己株式の取得				△76	△76				△76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,233	△1,233	14,109	12,875
当期変動額合計	17,908	17,908	△47,794	△76	△12,053	△1,233	△1,233	14,109	821
当期末残高	1,480,100	1,468,816	△1,848,937	△143	1,099,835	17,303	17,303	98,126	1,215,265

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失（△）	△591,429	△24,543
減価償却費	80,975	47,965
減損損失	77,451	14,050
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	1,080
受取利息及び受取配当金	△243	△81
支払利息	740	420
為替差損益（△は益）	△6,375	△784
補助金収入	△6,312	△2,070
株式報酬費用	45,740	24,122
株式交付費	98	—
新株予約権戻入益	△1,335	△6,008
売上債権の増減額（△は増加）	151,132	3,878
たな卸資産の増減額（△は増加）	△28,031	△15,807
仕入債務の増減額（△は減少）	△12	8,257
前払費用の増減額（△は増加）	△11,949	△28,155
未払金の増減額（△は減少）	22,739	18,479
未払費用の増減額（△は減少）	9,395	25,190
前受金の増減額（△は減少）	△15,456	49,462
未払又は未収消費税等の増減額	△16,639	48,212
その他	21,265	17,003
小計	△268,245	180,672
利息及び配当金の受取額	916	77
利息の支払額	△740	△420
補助金の受取額	5,853	2,070
補助金の返還額	△30	—
法人税等の支払額	△2,961	1,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	△265,206	184,075
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△141,618	△34,842
無形固定資産の取得による支出	△10,772	—
有価証券の償還による収入	100,000	—
その他	△2,439	△94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,831	△34,937
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	14,909	31,812
リース債務の返済による支出	△11,838	△9,637
自己株式の取得による支出	—	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,070	22,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,012	△638
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△312,955	170,598
現金及び現金同等物の期首残高	1,361,379	1,048,424
現金及び現金同等物の期末残高	1,048,424	1,219,023

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(報告セグメントの概要)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、CE-MS法によるメタボローム解析技術を基盤に事業を展開しており、そのサービス、製品、収益モデル等を勘案し、報告セグメントを「メタボロミクス事業」、「バイオマーカー事業」としております。

「メタボロミクス事業」では、顧客から受領した測定試料をメタボローム解析し、結果を報告する受託解析サービスの提供を、「バイオマーカー事業」では、バイオマーカーを用いて体外診断用医薬品や診断機器の開発などを行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メタボロミクス事業	バイオマーカー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	988,986	405	989,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	988,986	405	989,391
セグメント利益又は損失(△)	232,903	△204,294	28,608
セグメント資産	304,269	55,167	359,437
その他の項目			
減価償却費	73,864	1,879	75,744
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	142,833	2,896	145,729

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	メタボロミクス事業	バイオマーカー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,114,180	4,314	1,118,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,114,180	4,314	1,118,495
セグメント利益又は損失（△）	457,128	△160,824	296,304
セグメント資産	315,423	107,929	423,352
その他の項目			
減価償却費	40,140	124	40,265
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	21,381	9,149	30,530

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	28,608	296,304
全社費用（注）	△554,784	△313,344
連結財務諸表の営業損失（△）	△526,175	△17,039

（注）全社費用は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	359,437	423,352
全社資産（注）	1,008,004	1,114,793
連結財務諸表の資産合計	1,367,441	1,538,146

（注）全社資産は、主に各報告セグメントに配分していない現金及び預金、有価証券等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額（注）		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	75,744	40,265	7,848	6,857	83,593	47,123
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	145,729	30,530	9,639	4,812	155,368	35,343

（注）1. 減価償却費の調整額と有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない東京事務所の供用資産に係るものであります。

2. 報告セグメントの減価償却費は、売上原価及び一般管理費に配賦されております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
816,634	172,757	989,391

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. その他に属する国又は地域は、北米、南米、欧州及び本邦を除くアジア太平洋地域であります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	その他	合計
937,936	180,559	1,118,495

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. その他に属する国又は地域は、北米、南米、欧州及び本邦を除くアジア太平洋地域であります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メタボロミクス事業	バイオマーカー事業	計
減損損失	77,451	-	77,451

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	メタボロミクス事業	バイオマーカー事業	計
減損損失	—	14,050	14,050

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年6月30日）	当連結会計年度 （自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）
1株当たり純資産額	193.11円	189.48円
1株当たり当期純損失（△）	△101.92円	△8.15円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

（注）1. 潜在株調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額（△）の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年6月30日）	当連結会計年度 （自 2019年7月1日 至 2020年6月30日）
1株当たり当期純損失金額（△）		
親会社株主に帰属する当期純損失（△） （千円）	△596,026	△47,794
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失（△）（千円）	△596,026	△47,794
普通株式の期中平均株式数（株）	5,848,167	5,861,730
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額の算定に含まれな かった潜在株式の概要	新株予約権6種類 （新株予約権の数2,226個）	新株予約権5種類 （新株予約権の数1,731個）

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

前連結会計年度は、決算期の変更により2018年4月1日から2019年6月30日までの15ヶ月間となっております。これにより、当連結会計年度は比較対象となる前連結会計年度と対象期間が異なるため、前連結会計年度との比較は行っておりません。

① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	
	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボロミクス事業	5,253	—
合計	5,253	—

- (注) 1. 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、メタボロミクス事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボロミクス事業及びバイオマーカー事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	
	仕入高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボロミクス事業	16,456	—
合計	16,456	—

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、メタボロミクス事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボロミクス事業及びバイオマーカー事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボロミクス事業	1,172,300	—	321,950	—
バイオマーカー事業	4,314	—	3,000	—
合計	1,176,615	—	324,950	—

(注) 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	
	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボロミクス事業	1,114,180	—
バイオマーカー事業	4,314	—
合計	1,118,495	—

(注) 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。